

## Ⅱ 介護保険施設の利用者の状況

### 1 性・年齢階級別在所要者数

平成12年9月末の推計在所要者数は612,185人で、施設別にみると介護老人福祉施設が296,082人、介護老人保健施設が213,216人、介護療養型医療施設102,887人となっている。

性別にみると「男」が23.1%、「女」が76.9%となっており、年齢階級別では「85～89歳」が25.8%で最も多くなっている。

また、第2号被保険者(65歳未満の者)は、在所要者の1.8%で、介護療養型医療施設では4.5%となっている。(表9)

表9 性・年齢階級別にみた在所要者数

平成12年9月				
	介護保険施設	介護老人福祉施設	介護老人保健施設	介護療養型医療施設
総 数	612 185	296 082	213 216	102 887
男	141 157	62 538	51 429	27 190
女	471 028	233 544	161 787	75 697
65歳未満	10 889	3 910	2 394	4 585
65～69歳	24 968	13 725	6 027	5 216
70～74	51 944	26 466	16 434	9 044
75～79	91 966	43 607	33 799	14 560
80～84	135 636	62 948	51 751	20 937
85～89	158 112	74 337	58 534	25 241
90歳以上	137 895	70 675	44 084	23 136
	構 成 割 合 (%)			
総 数	100.0	100.0	100.0	100.0
男	23.1	21.1	24.1	26.4
女	76.9	78.9	75.9	73.6
65歳未満	1.8	1.3	1.1	4.5
65～69歳	4.1	4.6	2.8	5.1
70～74	8.5	8.9	7.7	8.8
75～79	15.0	14.7	15.9	14.2
80～84	22.2	21.3	24.3	20.3
85～89	25.8	25.1	27.5	24.5
90歳以上	22.5	23.9	20.7	22.5

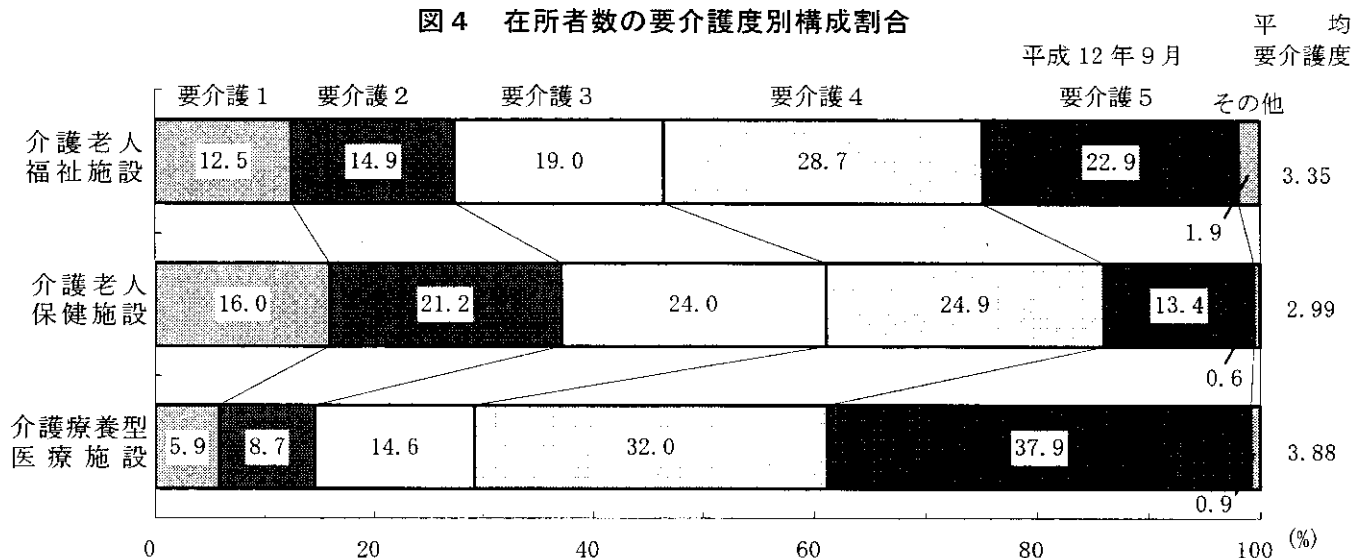
注：総数には年齢不詳を含む。

## 2 要介護度別在所者数

在所者を要介護度別にみると、介護老人福祉施設及び介護老人保健施設では「要介護4」が28.7%、24.9%、介護療養型医療施設では「要介護5」が37.9%と最も多くなっている。

また、平均要介護度は介護老人福祉施設が3.35、介護老人保健施設が2.99、介護療養型医療施設が3.88となっている。(図4)

図4 在所者数の要介護度別構成割合



## 3 在所者の年齢階級別要介護度

在所者の要介護度を年齢階級別にみると、「65歳未満」を除くすべての年齢階級で「要介護4」が最も多くなっている。(表10)

表10 年齢階級別にみた要介護度別在所者数の構成割合

(単位：%) 平成12年9月

	総数	65歳未満	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90歳以上
総数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
要介護1	12.6	7.6	12.2	12.5	13.2	13.3	13.2	11.4
要介護2	16.1	15.1	16.1	16.1	16.4	16.6	16.2	15.1
要介護3	20.0	17.8	18.8	19.4	19.9	20.0	20.4	20.4
要介護4	27.9	25.4	26.7	26.0	26.0	27.3	28.1	30.8
要介護5	22.1	32.4	24.8	24.4	23.1	21.5	20.9	21.3
その他	1.0	1.4	1.2	1.3	1.1	1.0	0.9	0.7

注：総数には要介護度不詳を含む。

#### 4 主な傷病別在在所者数

在所者の主な傷病をみると、各施設とも「IX 循環器系の疾患」が最も多く、特に介護療養型医療施設では、約6割を占めている。次いで各施設とも「V 精神及び行動の障害」が多くなっており、介護老人保健施設では31.2%となっている。(表11)

表11 主な傷病別にみた在所者数

平成12年9月

	介護老人福祉施設		介護老人保健施設		介護療養型医療施設	
	在所者数 (人)	構成割合 (%)	在所者数 (人)	構成割合 (%)	在所者数 (人)	構成割合 (%)
総 数	296 082	100.0	213 216	100.0	102 887	100.0
I 感染症及び寄生虫症	1 223	0.4	582	0.3	188	0.2
II 新生物	3 005	1.0	2 206	1.0	1 256	1.2
III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機能の障害	465	0.2	297	0.1	85	0.1
IV 内分泌、栄養及び代謝疾患	8 975	3.0	5 860	2.7	2 242	2.2
糖尿病(再掲)	7 738	2.6	5 277	2.5	2 103	2.0
V 精神及び行動の障害	71 413	24.1	66 566	31.2	14 969	14.5
痴呆(再掲)	63 686	21.5	64 447	30.2	14 224	13.8
VI 神経系の疾患	33 445	11.3	19 853	9.3	9 180	8.9
パーキンソン病(再掲)	7 732	2.6	5 328	2.5	3 267	3.2
アルツハイマー病(再掲)	12 702	4.3	8 973	4.2	2 354	2.3
VII 眼及び付属器の疾患	1 988	0.7	646	0.3	70	0.1
VIII 耳及び乳様突起の疾患	333	0.1	99	0.0	27	0.0
IX 循環器系の疾患	130 501	44.1	79 679	37.4	60 491	58.8
高血圧性疾患(再掲)	18 736	6.3	9 429	4.4	2 125	2.1
心疾患(再掲)	13 838	4.7	8 404	3.9	3 646	3.5
脳血管疾患(再掲)	96 062	32.4	60 987	28.6	54 266	52.7
X 呼吸器系の疾患	3 333	1.1	1 803	0.8	1 097	1.1
X I 消化器系の疾患	4 061	1.4	1 948	0.9	645	0.6
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	244	0.1	134	0.1	61	0.1
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	19 596	6.6	16 238	7.6	6 416	6.2
骨粗しょう症(再掲)	3 707	1.3	2 973	1.4	942	0.9
X IV 尿路性器系の疾患	1 938	0.7	1 483	0.7	515	0.5
X VII 先天奇形、変形及び染色体異常	248	0.1	68	0.0	33	0.0
X VIII 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見 で他に分類されないもの	486	0.2	618	0.3	224	0.2
X IX 損傷、中毒及びその他の外因の影響	9 417	3.2	14 436	6.8	5 002	4.9
骨折(再掲)	4 470	1.5	10 254	4.8	2 867	2.8
X X I 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの 利用	165	0.1	281	0.1	60	0.1
不 詳	5 245	1.8	419	0.2	326	0.3

注：1 傷病分類は「疾病及び関連保健問題の国際統計分類第10回修正」による。

2 「X V 妊娠、分娩及び産じょく」、「X VI 周産期に発生した病態」及び「X X 傷病及び死亡の外因」は計数がないため掲載していない。

## 5 在所者の痴呆の状況

在所者の痴呆性老人の日常生活自立度をみると、介護老人福祉施設は「ランクⅢ」が28.5%と最も多く、次いで「ランクⅣ」が27.7%、介護老人保健施設は「ランクⅢ」が35.3%と最も多く、次いで「ランクⅡ」が24.1%、介護療養型医療施設では「ランクⅣ」が29.6%と最も多く、次いで「ランクⅢ」が27.2%となっている。(表12)

また、痴呆と寝たきりの状況をみると、「痴呆ありで寝たきり者」は介護療養型医療施設が77.5%、介護老人福祉施設が63.1%、介護老人保健施設が49.8%となっており、「寝たきり者」は介護療養型医療施設で84.5%と最も多くなっている。(図5)

表12 痴呆のランク別にみた在所者数

平成12年9月

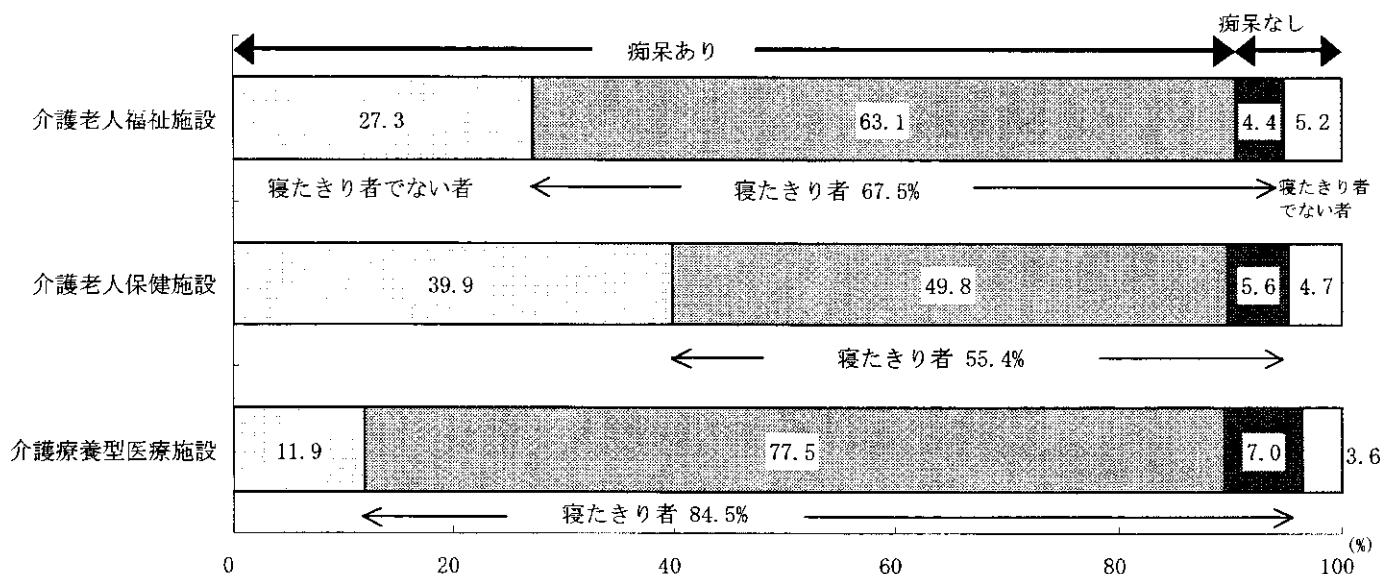
	介護老人福祉施設		介護老人保健施設		介護療養型医療施設	
	総数	構成割合(%)	総数	構成割合(%)	総数	構成割合(%)
総数	296 082	100.0	213 216	100.0	102 887	100.0
痴呆あり	265 886	89.8	190 701	89.4	91 273	88.7
ランクⅠ	26 045	8.8	26 133	12.3	7 346	7.1
ランクⅡ	55 587	18.8	51 471	24.1	14 202	13.8
ランクⅢ	84 400	28.5	75 245	35.3	27 943	27.2
ランクⅣ	81 965	27.7	33 696	15.8	30 483	29.6
ランクⅤ	17 889	6.0	4 156	1.9	11 299	11.0
痴呆なし	28 044	9.5	21 898	10.3	10 817	10.5

注：1 総数には痴呆の状況不詳を含む。

2 「痴呆あり」のランクは、「痴呆性老人の日常生活自立度判定基準」による。

図5 在所者の痴呆と寝たきりの割合

平成12年9月



注：寝たきりの状況及び痴呆の状況には不詳を含まない。

## 6 機能訓練等の状況

9月中に機能訓練を受けた者の割合をみると、ほとんどの機能訓練で介護老人保健施設が多くなっている。

9月中の機能訓練を受けた平均日数をみると、ほとんどの機能訓練で介護療養型医療施設の日数が多くなっている。(表13、図6)

表13 機能訓練等の種類別にみた9月中に機能訓練を受けた者の割合と平均日数

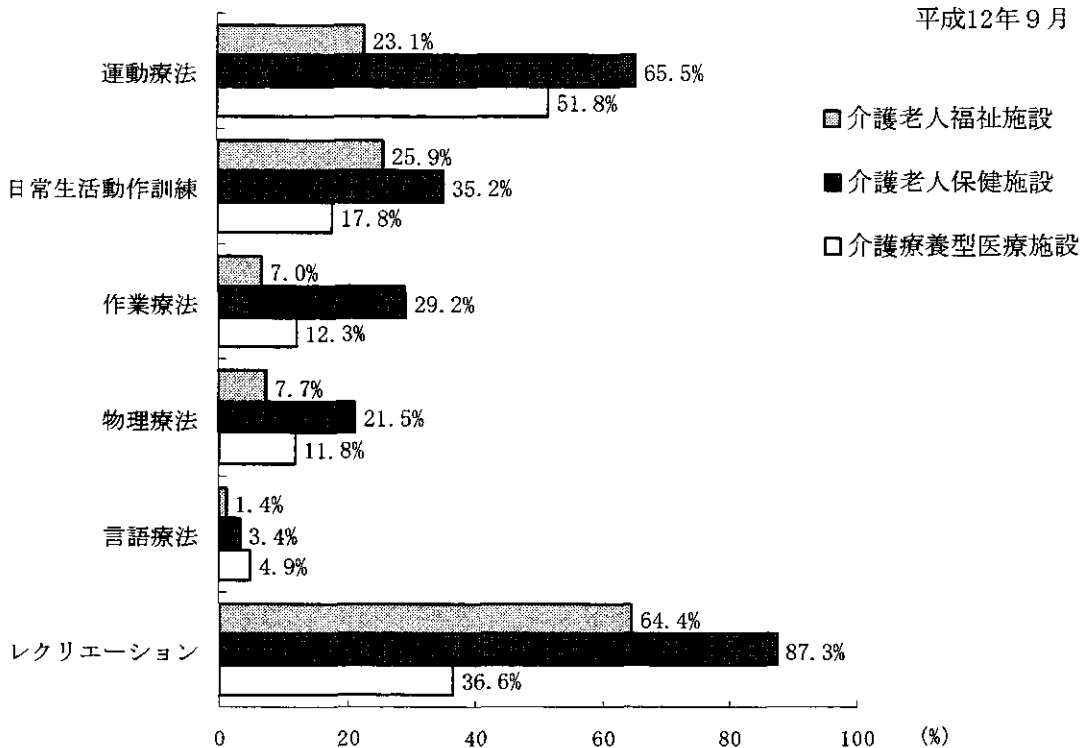
平成12年9月

	介護老人福祉施設		介護老人保健施設		介護療養型医療施設	
	受けた者の割合 (%)	平均日数 (日)	受けた者の割合 (%)	平均日数 (日)	受けた者の割合 (%)	平均日数 (日)
物理療法	7.7	9.6	21.5	10.4	11.8	16.4
運動療法	23.1	9.6	65.5	10.7	51.8	15.9
作業療法	7.0	6.0	29.2	6.2	12.3	12.2
言語療法	1.4	9.9	3.4	8.4	4.9	13.1
日常生活動作訓練	25.9	19.7	35.2	18.2	17.8	19.2
レクリエーション	64.4	7.9	87.3	11.9	36.6	8.5

注：「受けた者の割合」は各施設の在在所者数を100としたときの割合である。

図6 機能訓練等の種類別にみた訓練を受けた者の割合

平成12年9月



## 7 在所者の在所期間

在所者の在所期間をみると、介護老人福祉施設では、「5年以上」が28.6%、介護老人保健施設及び介護療養型医療施設では「6か月～1年未満」がそれぞれ25.0%、29.8%と多くなっている。

なお、介護老人保健施設では「1年未満」が約7割となっている。(表14)

表14 在所期間別在所者数の割合

(単位：%) 平成12年9月

	介護老人福祉施設		介護老人保健施設		介護療養型医療施設	
	百分率	累積百分率	百分率	累積百分率	百分率	累積百分率
総数	100.0	.	100.0	.	100.0	.
3か月未満	4.4	4.4	23.6	23.6	11.0	11.0
3か月～6か月	5.3	9.7	19.1	42.8	11.8	22.8
6か月～1年	10.2	19.9	25.0	67.8	29.8	52.6
1～2年	18.1	38.0	21.7	89.4	17.2	69.9
2～3年	13.2	51.2	6.1	95.5	9.6	79.4
3～4年	11.1	62.3	2.3	97.8	5.8	85.3
4～5年	8.7	71.0	1.1	98.9	4.0	89.3
5年以上	28.6	99.6	0.9	99.9	10.5	99.8
不詳	0.4	.	0.1	.	0.2	.

## 8 退所者の平均入所日数

9月中の退所者について、退所後の行き先をみると、介護老人福祉施設では「死亡」が57.0%、介護老人保健施設では「家庭」が45.0%、介護療養型医療施設では「医療機関」が33.1%と最も多くなっている。

平均入所日数をみると、介護老人福祉施設が1,455.5日、介護療養型医療施設が403.0日、介護老人保健施設が184.8日となっている。(表15)

表15 退所後の行き先別にみた退所者数の構成割合と平均入所日数

平成12年9月

	介護老人福祉施設		介護老人保健施設		介護療養型医療施設	
	退所者数 (人)	平均入所日数 (日)	退所者数 (人)	平均入所日数 (日)	退所者数 (人)	平均入所日数 (日)
総数	2 632 (100.0%)	1 455.5	17 849 (100.0%)	184.8	4 318 (100.0%)	403.0
家庭	3.6	652.1	45.0	118.4	23.0	168.2
介護老人福祉施設	1.4	825.8	7.3	286.4	6.8	401.6
その他の社会福祉施設	0.3	1 740.9	1.4	289.1	0.6	191.9
介護老人保健施設	1.1	676.7	5.5	240.9	10.9	312.0
医療機関	34.9	1 322.1	38.2	225.5	33.1	426.5
死亡	57.0	1 617.7	1.7	314.8	23.8	639.0
その他	1.6	1 391.1	1.0	214.0	1.9	438.2

注：その他には行き先不詳を含む。

## 9 利用料の状況（9月中）

在所者の9月中の1人当たり平均利用料をみると、介護老人福祉施設で31,452円、介護老人保健施設で61,967円、介護療養型医療施設で67,260円となっている。（表16、表17）

利用料階級別にみると、介護老人福祉施設では「4万円～5万円未満」が34.3%、介護老人保健施設及び介護療養型医療施設では「6万円～7万円未満」がそれぞれ36.7%、34.6%と、最も多くなっている。（表18）

表16 要介護度別1人当たり平均利用料

（単位：円）

平成12年9月

	介護老人福祉施設	介護老人保健施設	介護療養型医療施設
総 数	31 452	61 967	67 260
要介護1	30 219	58 403	59 848
要介護2	31 503	60 420	62 682
要介護3	31 592	62 180	65 539
要介護4	31 822	63 559	68 013
要介護5	31 622	65 537	69 673

注：1 総数には要介護度不詳を含む。

2 利用料は、介護サービス費自己負担額、食費、特別な室料等の合計をいう。

表17 平均利用料の項目別構成割合

（単位：％）

平成12年9月

	平均利用料	介護サービス費 自己負担分	食 費	特別室料	その他
介護老人福祉施設	31 452 (100.0)	53.8	40.8	0.2	5.2
介護老人保健施設	61 967 (100.0)	44.6	31.3	8.7	15.4
介護療養型医療施設	67 260 (100.0)	51.6	27.8	5.4	15.2

表18 利用料階級別在所者数の構成割合

（単位：％）

平成12年9月

	介護老人福祉施設	介護老人保健施設	介護療養型医療施設
総 数	100.0	100.0	100.0
1万円未満	11.1	2.6	3.4
1万～2万円	19.0	2.3	2.2
2万～3万	17.1	1.7	1.9
3万～4万	10.4	1.9	2.4
4万～5万	34.3	7.0	5.4
5万～6万	7.2	30.6	18.9
6万～7万	0.6	36.7	34.6
7万～8万	0.1	7.7	12.6
8万～9万	0.0	2.6	5.6
9万～10万	0.0	2.1	4.0
10万円以上	0.0	4.8	9.1

### Ⅲ 居宅サービス事業所の状況

居宅サービス事業所の状況については、集計対象となった事業所をとりまとめたものである。

#### 1 開設者別事業所数

居宅サービス事業所を開設者別にみると、訪問介護、訪問入浴介護、通所介護、短期入所生活介護事業所では「社会福祉法人」が多く、訪問看護ステーション、通所リハビリテーション、短期入所療養介護事業所では「医療法人」が多くなっている。

また、訪問介護、訪問入浴介護事業所については、「会社」の割合が他の居宅サービス事業所に比べ多くなっている。(表 19)

表 19 開設者別事業所数の構成割合

平成12年10月

	事業所数	構成割合 (%)								
		総数	地方公共団体	公的・社会保険関係団体	社会福祉法人	医療法人	非営利活動法人(NPO)	協同組合	会社	その他
(訪問系)										
訪問介護	9 833	100.0	6.6	0.0	43.2	10.4	2.1	4.6	30.3	2.7
訪問入浴介護	2 269	100.0	8.6	0.0	63.5	2.6	0.4	0.9	23.1	0.8
訪問看護ステーション	4 730	100.0	5.1	3.3	10.4	53.3	0.3	4.3	6.0	17.3
(通所系)										
通所介護	8 037	100.0	22.2	0.0	66.0	4.2	1.3	1.1	4.5	0.7
通所リハビリテーション 介護老人保健施設	2 638	100.0	5.4	2.1	15.7	73.2	-	-	-	3.6
医療施設	2 273	100.0	2.0	1.1	...	70.3	-	...	0.2	26.4
(その他)										
短期入所生活介護	4 515	100.0	13.5	0.1	84.9	0.8	0.0	0.0	0.6	0.0
短期入所療養介護 介護老人保健施設	2 616	100.0	5.5	2.1	15.5	73.3	-	-	-	3.7
医療施設	2 035	100.0	4.8	1.6	...	72.3	-	...	0.3	21.0
痴呆対応型共同生活介護	675	100.0	3.6	-	37.5	31.1	5.5	0.3	21.2	0.9
福祉用具貸与	2 685	100.0	1.6	-	8.3	2.6	0.5	3.6	82.6	0.8
居宅介護支援	17 176	100.0	11.9	0.3	35.0	25.1	0.9	3.3	18.1	5.5
医療施設										
訪問看護	13 728	100.0	7.0	1.4	...	49.4	-	...	0.2	41.9
訪問リハビリテーション	3 979	100.0	8.1	2.7	...	58.5	-	...	0.3	30.4

注：1 事業所数は集計対象となった事業所数である。ただし、医療施設が行う訪問看護及び訪問リハビリテーションは、推計数である。

2 「公的・社会保険関係団体」とは、日本赤十字社、厚生（医療）農業協同組合連合会、健康保険組合及び健康保険組合連合会、国家公務員共済組合及び国家公務員共済組合連合会、地方公務員共済組合、全国市町村職員共済組合連合会、日本私立学校振興・共済事業団、国民健康保険組合及び国民健康保険組合連合会、全国社会保険協会連合会をいう。



## 2 利用者数規模別事業所数

居宅サービス事業所を平成12年9月中の利用者数規模別にみると、訪問系サービスでは、訪問介護事業所、訪問入浴介護事業所は「29人以下」がそれぞれ約5割、約7割を占めている。

通所系サービスでは、各事業所とも「50人以上」が多くなっている。

9月中の1事業所当たり利用者延数をみると、訪問介護事業所では492.6人、訪問看護ステーションでは225.3人となっている。(表20)

表20 利用者数規模別事業所数の構成割合

(単位：%)

平成12年10月

	総数	1～9人	10～19人	20～29人	30～39人	40～49人	50～99人	100人以上	9月中の1事業所当たり利用者数(人)	9月中の1事業所当たり利用者延数(人)
(訪問系)										
訪問介護	100.0	12.5	18.5	17.1	13.4	9.3	17.3	8.2	47.2	492.6
訪問入浴介護	100.0	36.2	22.9	12.5	5.2	3.2	6.3	5.2	29.0	94.1
訪問看護ステーション	100.0	7.4	12.4	16.8	15.5	13.7	27.5	5.1	43.7	225.3
(通所系)										
通所介護	100.0	2.7	5.4	5.7	6.2	7.5	44.5	26.2	78.2	420.2
通所リハビリテーション 介護老人保健施設	100.0	4.7	7.7	8.8	9.7	10.3	40.5	17.3	67.9	477.3
医療施設	100.0	3.6	8.7	13.7	13.7	12.2	31.7	7.7	51.7	391.4
(その他)										
短期入所生活介護	100.0	26.1	26.6	16.1	10.2	6.6	8.8	1.0	24.0	164.0
短期入所療養介護 介護老人保健施設	100.0	56.5	23.8	7.6	2.9	1.0	1.0	0.1	11.2	67.7
医療施設	100.0	28.0	2.3	0.4	-	0.1	0.0	-	4.0	22.3
痴呆対応型共同生活介護	100.0	86.4	10.1	1.0	0.4	-	0.1	-	8.2	232.8
居宅介護支援	100.0	9.3	9.1	8.4	8.5	9.2	27.3	20.0	68.1	-
医療施設										
訪問看護	100.0	39.0	8.8	4.2	2.1	1.2	1.6	0.3	11.1	42.5
訪問リハビリテーション	100.0	49.1	11.8	2.5	2.0	0.5	1.2	0.9	9.6	28.3

注：1 医療施設が行う訪問看護及び訪問リハビリテーションは、推計数である。

2 総数には利用者数不詳の事業所を含む。

3 「9月中の1事業所当たり利用者数(人)」は、利用者数不詳の事業所を除いて算出した。

4 「9月中の1事業所当たり利用者延数(人)」は、利用者延数不詳の事業所を除いて算出した。

### 3 要介護度別利用者数

要介護度別利用者数をみると、訪問系サービスでは、訪問介護事業所は「要介護1」、「要支援」が多いが、訪問入浴介護、訪問看護ステーションは「要介護5」、「要介護4」が多くなっている。

通所系サービスでは、各事業所とも「要介護1」、「要介護2」が多くなっている。

9月中の利用者1人当たり利用回(日)数をみると、訪問介護事業所は10.8回、訪問看護ステーションは5.3回、通所介護事業所は5.4回となっている。(表21、図7)

表21 要介護度別利用者数の構成割合

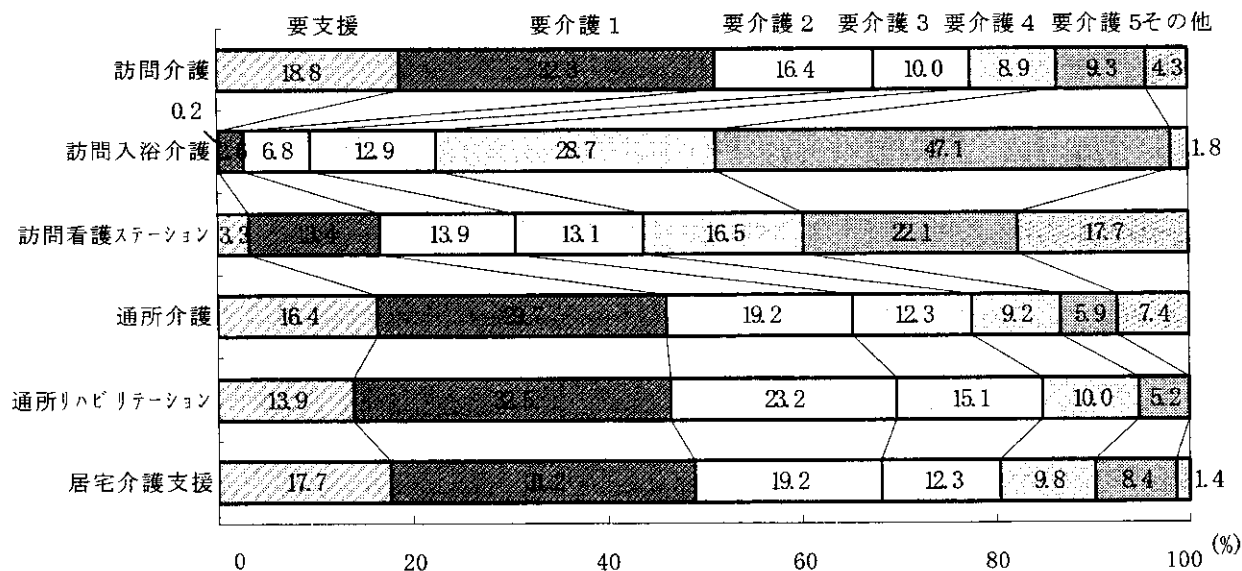
	利用者数(人)	構成割合(%)								9月中の利用者1人当たり利用回(日)数
		総数	要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	その他	
(訪問系)										
訪問介護	446 679	100.0	18.8	32.3	16.4	10.0	8.9	9.3	4.3	10.8
訪問入浴介護	60 384	100.0	0.2	2.6	6.8	12.9	28.7	47.1	1.8	3.7
訪問看護ステーション	203 573	100.0	3.3	13.4	13.9	13.1	16.5	22.1	17.7	5.3
(通所系)										
通所介護	616 967	100.0	16.4	29.7	19.2	12.3	9.2	5.9	7.4	5.4
通所リハビリテーション 介護老人保健施設	177 122	100.0	12.1	30.6	23.9	16.4	11.2	5.8	·	7.0
医療施設	96 647	100.0	17.3	35.8	22.0	12.9	7.9	4.1	·	7.5
(その他)										
短期入所生活介護	103 258	100.0	2.2	14.3	18.8	20.9	21.5	21.5	0.9	6.9
短期入所療養介護 介護老人保健施設	27 332	100.0	2.4	16.7	21.3	22.8	20.2	16.7	·	6.0
医療施設	2 371	100.0	2.4	13.9	17.0	17.5	21.3	27.9	·	5.6
痴呆対応型共同生活介護	5 450	100.0	-	33.5	33.8	20.8	8.1	2.8	1.1	28.5
居宅介護支援	1 074 242	100.0	17.7	31.2	19.2	12.3	9.8	8.4	1.4	·
医療施設										
訪問看護	84 698	100.0	3.7	12.0	11.3	9.8	12.5	16.3	34.4	3.7
訪問リハビリテーション	25 372	100.0	2.1	11.5	13.0	14.9	17.4	22.1	19.0	2.9

注：1 利用者数は集計対象となった事業所の利用者数である。ただし、訪問看護ステーション、医療施設が行う訪問看護及び訪問リハビリテーションは推計数であり、要介護度「その他」には、健康保険法等の利用者を含む。

2 「9月中の利用者1人当たり利用回(日)数」は、利用者数不詳又は利用者延数不詳の事業所を除いて算出した。

図7 要介護度別利用者数の構成割合

平成12年9月



#### 4 従事者の状況

居宅サービス事業所の1事業所当たり常勤換算看護・介護職員数をみると、訪問系サービスでは、訪問介護事業所は7.6人、訪問看護ステーションは4.5人、通所系サービスでは、通所介護事業所は5.8人となっている。

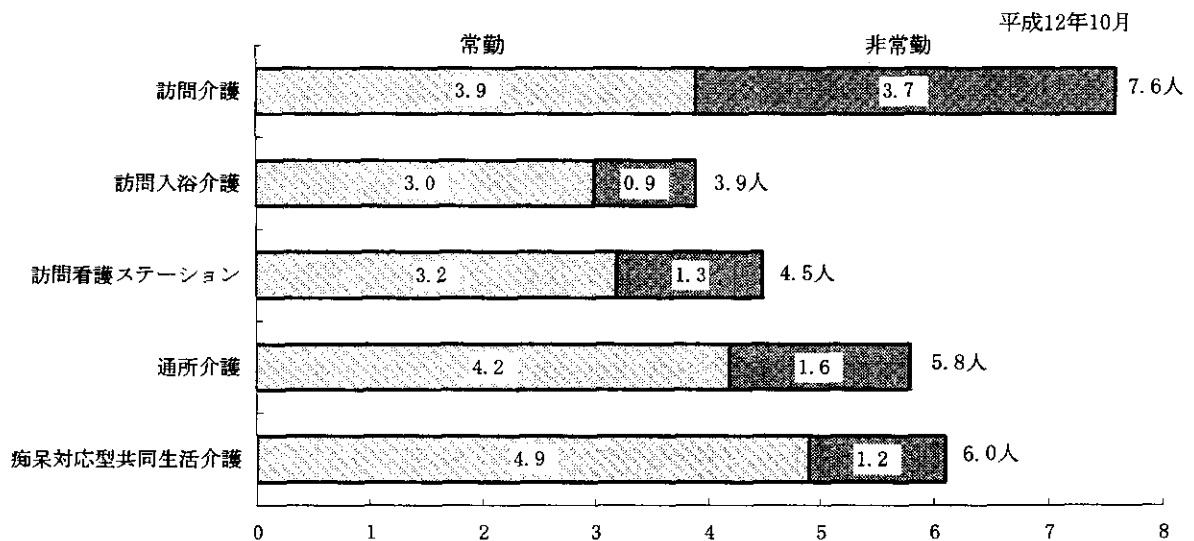
看護・介護職員1人当たり利用者延数（9月中）は、訪問介護事業所が67.2人、訪問看護ステーションが49.7人、通所介護事業所が71.6人となっている。（表22、図8）

表22 常勤換算従事者数

平成12年10月			
	従事者総数	1事業所当たり看護・介護職員数	看護・介護職員1人当たり利用者延数
(訪問系)			
訪問介護	76 973	7.6	67.2
訪問入浴介護	9 426	4.0	24.6
訪問看護ステーション	22 302	4.5	49.7
(通所系)			
通所介護	70 949	5.8	71.6
(その他)			
短期入所生活介護	98 796	...	...
痴呆対応型共同生活介護	4 375	6.0	39.2
福祉用具貸与	8 800	.	.
居宅介護支援	32 884	.	.

- 注：1 従事者総数は集計対象となった事業所の従事者総数である。  
 2 短期入所生活介護は空床利用施設の従事者を含む。  
 3 訪問看護ステーションの看護職員には、理学療法士及び作業療法士を含む。  
 4 「1事業所当たり看護・介護職員数」は、従事者数不詳の事業所を除いて算出した。  
 5 「看護・介護職員1人当たり利用者延数」は、従事者数不詳又は利用者延数不詳の事業所を除いて算出した。

図8 1事業所当たり常勤換算看護・介護職員数



- 注：1 「常勤」は兼務者（複数の職務に従事している者）の換算数と専従者との合計であり、「非常勤」は常勤換算数である。（単位：人）  
 2 痴呆対応型共同生活介護の数値は四捨五入のため、内訳の合計が総数に合わない。

#### IV 訪問看護ステーションの利用者の状況

##### 1 性・年齢階級別利用者数

平成12年9月中の訪問看護ステーションの推計利用者数は203,573人で、性別では、「男」は79,713人(39.2%)、「女」は123,860人(60.8%)となっており、年齢階級別にみると、「80～89歳」が37.6%と最も多く、次いで「70～79歳」が28.9%となっている。

また、介護保険法の利用者は、82.8%となっている。(表23)

表23 支払い方法別にみた性・年齢階級別利用者数 平成12年9月

	総数	介護保険法	健康保険法等
総数	203 573 (100.0)	168 597 (82.8)	34 976 (17.2)
男	79 713	63 256	16 457
女	123 860	105 341	18 519
40歳未満	4 078	.	4 078
40～64歳	19 288	8 343	10 945
65～69	15 108	12 219	2 890
70～79	58 836	50 386	8 451
80～89	76 568	69 890	6 678
90歳以上	29 450	27 582	1 868
総数	100.0	100.0	100.0
男	39.2	37.5	47.1
女	60.8	62.5	52.9
40歳未満	2.0	.	11.7
40～64歳	9.5	4.9	31.3
65～69	7.4	7.2	8.3
70～79	28.9	29.9	24.2
80～89	37.6	41.5	19.1
90歳以上	14.5	16.4	5.3

注：1 総数には、年齢不詳を含む。

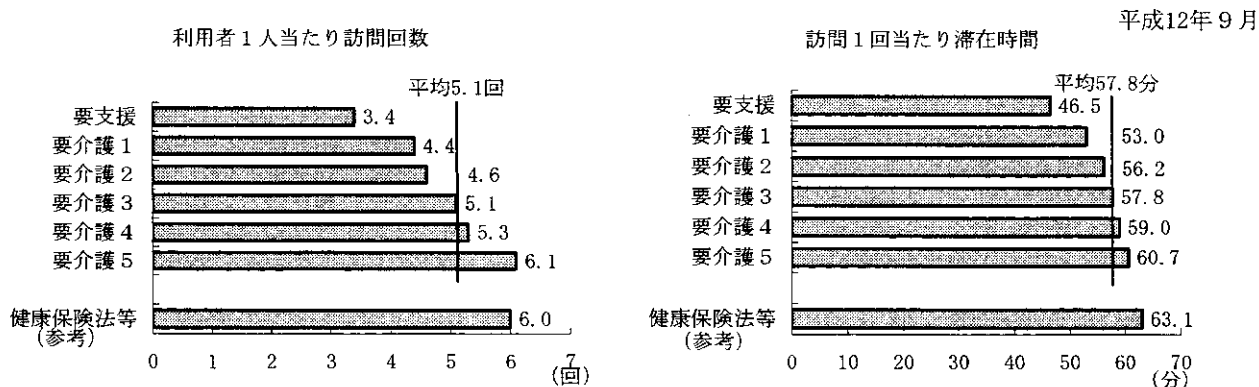
2 「健康保険法等」の利用者は、介護保険法の支払いがなく、老人保健法及びそれ以外の政府管掌健康保険等の医療保険、公費負担医療等の支払いがあった者である。

##### 2 要介護度別1人当たり訪問回数・訪問1回当たり滞在時間(9月中)

介護保険法による利用者1人当たり訪問回数は平均5.1回となっており、要介護度が高くなるほど訪問回数も多くなり、「要介護5」では6.1回となっている。

また、訪問1回当たり滞在時間は平均57.8分となっており、要介護度が高くなると滞在時間は少し長くなり、「要介護5」では60.7分となっている。(図9)

図9 要介護度別1人当たり訪問回数・訪問1回当たり滞在時間



### 3 痴呆と寝たきり度（日常生活自立度）の状況

介護保険法による利用者の痴呆と寝たきりの状況をみると、「痴呆あり」が71.3%、「寝たきり者（ランクBとランクCを合わせた者をいう。以下同じ。）」が56.7%となっている。

また、「痴呆ありで寝たきり者」は44.9%となっており、これを年齢階級別にみると、年齢が高くなるほどその割合が多くなっている。（表24、図10）

表24 痴呆と寝たきり度別にみた利用者数（介護保険法による利用者）

平成12年9月

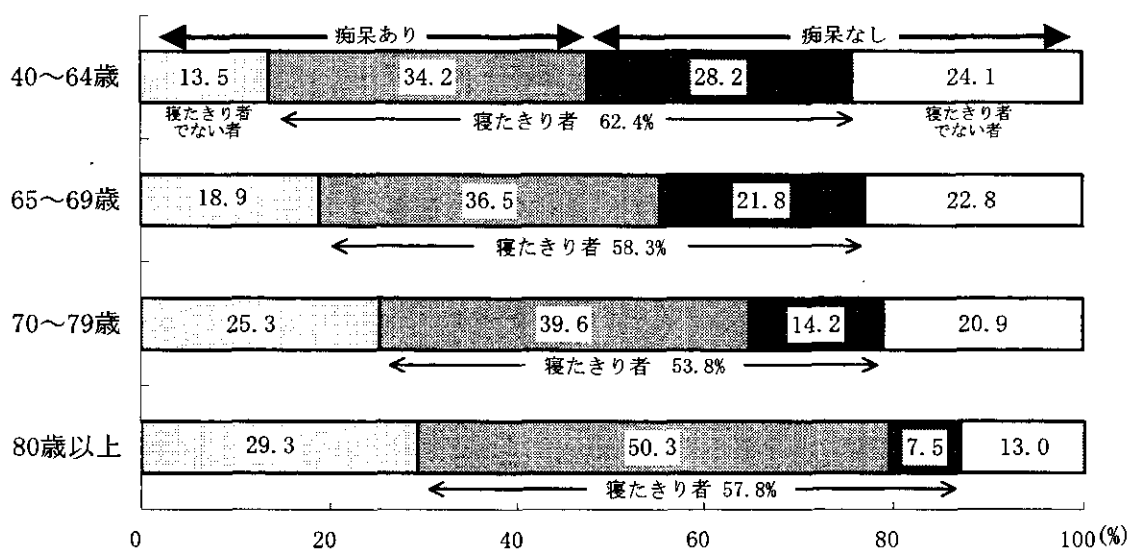
	総数		寝たきり度						不詳	寝たきり者 (再掲)
			障害なし	ランクJ	ランクA	ランクB	ランクC			
介護保険法	168 597 (人)	(%)	1 800	17 070	53 471	46 418	49 111	728	95 529	
		100.0	1.1	10.1	31.7	27.5	29.1	0.4	56.7	
痴呆あり	120 222	71.3	0.4	5.7	20.2	20.4	24.5	0.1	44.9	
ランクI	38 673	22.9	0.2	3.6	9.2	6.3	3.6	0.0	9.9	
ランクII	30 308	18.0	0.1	1.5	6.7	5.8	3.8	0.0	9.6	
ランクIII	24 823	14.7	0.1	0.5	3.1	5.2	5.7	0.0	11.0	
ランクIV	21 104	12.5	0.0	0.1	0.9	2.8	8.7	0.0	11.4	
ランクM	5 313	3.2	0.0	-	0.1	0.3	2.7	0.0	3.0	
痴呆なし	47 109	27.9	0.7	4.3	11.5	7.0	4.4	0.1	11.4	
不詳	1 266	0.8	0.0	0.1	0.1	0.1	0.3	0.2	0.4	

注：1 「寝たきり者」はランクBとランクCを合わせた者をいう。

2 痴呆及び寝たきり度のランクは、「痴呆性老人の日常生活自立度判定基準」及び「障害老人の日常生活自立度（寝たきり度）判定基準」による。

図10 年齢階級別にみた痴呆と寝たきり者の割合（介護保険法による利用者）

平成12年9月



注：寝たきりの状況及び痴呆の状況には不詳を含まない。